

◇漢方基礎講座 カリキュラム◇

講義1：漢方基礎概論 13：00～14：00

谿 忠人 先生（大阪大谷大学薬学部・漢方医療薬学講座）

一般用漢方製剤を適正に使用するための漢方医学と生薬・漢方処方基礎知識を解説します。
一般用医薬品の「効能・効果」の記載を漢方医学的に理解して適正に使用するための知識です。

講義2：一般用漢方処方解説 14：10～15：10

谿 忠人 先生（大阪大谷大学薬学部・漢方医療薬学講座）

一般用漢方製剤の処方内容、使い分けの指針や使用上の注意などを解説します。
テキスト：改定 一般用漢方処方の手引き（梶じほう，2009）

講義3：漢方専門医による特別講座 15：30～16：30

講義4：実践漢方薬局による特別講座 16：40～17：40

毎回著名な先生方をお招きし、実際の漢方薬局における内容（実践処方紹介、接客術・顧客管理など）や、臨床経験豊かな漢方専門医による特別講座です。

講座のポイント

- 漢方の基礎を第一歩から系統だてて学べる内容
- 一般用漢方製剤の使い方や選択方法を分かりやすく解説
- 実践経験豊富な全国の著名な講師陣による特別講座

回数	開講日	講義1 13：00～14：00 漢方基礎概論	講義2 14：10～15：10 一般用漢方処方解説	講義3 15：30～16：30 漢方専門医による特別講座	講義4 16：40～17：40 実践漢方薬局による特別講座
第1回	H.22 5/30	漢方医学的に考えるとは？ 「西洋科学医療と民間療法との比較」	漢方の病態診断（虚実と寒熱）に対応する生薬・漢方処方分類	【特別講師】 新谷卓弘 先生 （近畿大学東洋医学研究所 教授） 田畑隆一郎 先生 （たばた関本薬局 薬学博士） 中田敬吾 先生 （医療法人聖光園細野診療所 院長） 西田慎二 先生 （大阪大学大学院医学系研究科 漢方医学寄附講座 准教授） 西本隆 先生 （医療法人社団岐黄会 西本クリニック 院長） 三谷和男 先生 （三谷ファミリークリニック 院長） 五十音順 ※ 詳しい日程が決まり次第ご案内いたします。	【特別講師】 大串一稔 先生 （千葉県 元気堂薬局） 幸井俊高 先生 （東京都 幸福薬局） 陣内秀喜 先生 （茨城県 厚仁堂漢方薬局） 鈴木寛彦 先生 （静岡県 むつごろう薬局） 林譽史朗 先生 （愛知県 本草閣薬局） 夜久泰造 先生 （兵庫県 夜久薬局） 五十音順 ※ 詳しい日程が決まり次第ご案内いたします。
第2回	6/27	漢方の病態と生薬・漢方処方（1） 「感冒の治療を例にして」	「感冒、せき、鼻づまり、鼻汁」に用いる処方		
第3回	7/25	漢方医学の生理と病態と 生薬の薬能および処方の成り立ち	漢方の病態診断（気血水の過不足）に対応する生薬・漢方処方分類		
第4回	9/26	漢方の病態と生薬・漢方処方（2） 「下痢の治療を例にして」	「胃腸虚弱、食欲不振、嘔気、胃部 停滞感、胃痛、腹痛」に用いる処方		
第5回	10/31	漢方の病態と生薬・漢方処方（3） 「頭痛の治療を例にして」	「神経症（めまい、動悸、咽喉頭異 常感、不眠、不安感）」に用いる処方		
第6回	11/28	漢方の病態と生薬・漢方処方（4） 「生活習慣病の治療を例にして」	「婦人更年期障害、肥満、冷え症、 冷えのぼせ症」に用いる処方		
第7回	H.23 1/30	漢方の病態と生薬・漢方処方（5） 「乾燥皮膚の治療を例にして」	「かゆみ（湿疹・皮膚炎）、蕁麻疹、 肌荒れ」に用いる処方		
第8回	2/27	漢方の病態と生薬・漢方処方（6） 「関節痛の治療を例にして」	「痛み（膝、関節痛）、神経痛、むくみ、 筋肉痛、肩こり、腰痛」に用いる処方		
第9回	3/27	生薬・漢方処方の科学知 （薬理と臨床科学）	生薬・漢方処方の行政知 （使用上の注意や副作用）		